

「モノづくりこそニッポンの砦」

—中小企業の体験的アジア戦略—

伊藤 澄夫 著

(株)伊藤製作所 代表取締役

国内で生き残るか、海外進出か ニッポンのモノづくりのDNAは健在

本書は、金型・プレス加工専門メーカーの社長が、日本のモノづくり最前線で活躍する中小企業は今、どのような状況に置かれているのか。その本音を見事に吐露した。また、その社長を取巻く気鋭の経済学者・アジアを駆け巡るジャーナリストが参加して、中小企業の生き様を客観的に描く。

ぜひ、今将に問われている日本のモノづくりはどのようになり、その経営者が何を考え、何故モノづくりを黙々と支えているのか。その実態を見て欲しい。

<目 次>

本書および伊藤澄夫氏から学ぶこと	弘中史子	1
第1章 日本を考える -プロローグに代えて-		15
第2章 モノづくりのDNAを持つ日本人		23
1 戦前の日本の技術力		24
2 まだ日本には底力がある		31
第3章 金型産業に見る日本の製造業		37
1 製造業から見たバブルの原因		38
2 金型産業のあゆみ		39
3 金型って何?		42
4 伊藤製作所と金型		44
第4章 技術の空洞化 -今何が起きているのか-		51
1 職人(技術者)の海外流出		52
2 技術の継承に危機		55
3 金型の知的所有権		57
4 技術力があれば生き残れるのか		61

5	峠を過ぎた技術が海外では	62	
第5章	私の選択 -フィリピンへの進出-	65	
1	国内で生き残りをかけるか、海外進出か	66	
2	私が海外進出にかけた理由	69	
3	フィリピンへの進出理由	73	
4	突然襲った危機	81	
5	合弁から独資へ	84	
6	知られざるフィリピンの優位性 -フィリピンでの成功理由-	92	
7	ローカル社員の人事マネジメント	98	
8	海外進出と情報の収集	116	
9	日本企業にとってのアキレス腱：語学	120	
第6章	中国という国、そして日本の製造業に与える影響	123	
1	なぜ中国を意識するのか	124	
2	中国の金型技術：何が脅威なのか	127	
3	台湾の資金力と中国の関係	130	
4	偉大な中国	132	
第7章	新たな日韓関係に向けて	135	
1	若者よ！ 歪曲された歴史を知り、気を落とすべからず	136	
2	他の国から見た日韓関係	141	
3	日本のとるべき対応とは？	143	
4	日韓金型フォーラムにて	145	
第8章	製造業と政治	151	
1	政治家は良い国を作るリーダーであれ	152	
2	中国	155	
3	韓国	157	
4	イギリス	158	
5	マレーシア	159	
6	シンガポール	160	
7	ドイツ	162	
8	日本	163	
第9章	世界で一番起業が難しい国	169	
1	なぜ、追いかける国の方が楽なのか？	170	
2	理念の無い「政治」が製造業の足を引っ張っている	171	
3	外国と日本の税制	174	
4	ベンチャー振興ばかりでよいのか？	178	
5	なぜ後継者が出てこないのか？	184	
6	マスコミ報道の罪	187	
7	企業の足を引っ張る規制	188	
8	教育現場への疑問	190	

第 10 章 国際感覚の必要性	193
1 マナーの違い	194
2 非常識な日本人の感覚	197
3 不用意な一言	199
第 11 章 中京大学大学院（ビジネスイノベーション研究科 MBA コース）での一問一から	
201	
1 早く進出して良かったこと	202
2 「合弁」するメリット・デメリット	205
3 英語について	206
4 社員とのコミュニケーションと後継者問題	209
5 中国進出は可か否か	210
6 同一拠点でなくとも、最適生産はできる	215
7 フィリピンでの資金	217
8 アジアの人たち	218
9 国際感覚を持って	219
付 録	221
中小企業社長の国際感覚とフィリピンでのプレス製造業 井戸 潔	222
1 伊藤社長との出会い	222
2 二代目社長業	224
3 経営者の国際感覚	225
4 フィリピンでの挫折は乗り越えられるか	226
5 主戦場となる ASEAN と中国	228
6 伊藤製作所フィリピン工場（ISPC）訪問記	229
7 結び	234
伊藤澄夫氏のこと 松田 健	236
アジアの金型・自動車産業事情 松田 健	243
1 合弁会社「イトー・フォーカス」と故加藤さんのこと	244
2 日本から金型はなくなる	247
3 たった五年間で世界一になった台湾のチコニーや鴻海精密工業	253
4 拡大するアジアの自動車産業	257
5 インドの金型業界	263
6 中国のような反日感情はないインドに注目	266
おわりに	269